



フィリピン孤児院のスタッフ(右)と子どもたち！

新春のお慶び申し上げます。昨年は、皆さまの多大なる御支援御協力を賜り、本当にありがとうございました。昨年の12月のことですが、今若者達の間で大変人気のある音楽グループの「SEKAI NO OWARI」の方々から、私共の理事数名とスタッフが食事に招かれました。理事からは「大変光栄であった」旨の報告をうけました。しかし、それ以上に、ポーカルの深瀬様より「カンボジア孤児院を訪問してみたい」とお話があり、スタッフ一同驚くと共に、私共の働きに対する深い御理解と御関心に、心から謝意を持ちました。このことは、カンボジア孤児院の子供たちにとっても、大変な励ましと喜びになるに違いありません。カンボジア孤児院といえば、今現在、現地孤児院の責任の任にあたっております前田スタッフが、数年ぶりに帰国しています。これも先日のことですが、いつも私共孤児院の働きに対し、甚大な御協力を賜っております「ワールドサポート21」様よりチャリティーパーティーにお招きいただき、その席で報告の機会が与えられました。集われた方々皆が、前田の話に傾聴くださり、大変意義のある時を持たせて頂きました。日本の児童養護施設の方では、先日、多額のご寄付があり、建設に向けて大きく前進したことも御報告させていただきます。と同時に、御支援して下さった方々には、今一度、この誌面をお借りしまして感謝を申し上げます。昨年の働きを受け、今年も、一人でも多くの子供たちを助けることができるよう努めて行きたい所存ではございますが、その為に、どうしても皆さまのお力が必要でございます。どうか本年も皆さまの御支援、サポート、是非よろしくお願い致します。

## カンボジア孤児院レポート

今井志生子

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。11月はカンボジアの大イベント、ウォーターフェスティバルに出かけました。3日間連休となり、プノンペン王宮付近は歩行者天国に出店がたくさん、川ではボートレースが行なわれます。孤児院の子ども達は小さい子、中間層、大きい中高生と3グループに分かれ、年に一度、この時ばかりは少しのおこづかいを渡しています。小さい子は100円と少し、大きい中高生で一人300円程渡しますが、これが子ども達には嬉しくて仕方がないのです。前日から入替わり立ち代わりやって来て、普段は食べられない屋



ウォーターフェスティバルにて子どもたち！

台フードや買物など、どんなに楽しみかを説明してくれました。中間層、大きい中高生組に同行しましたが、どちらも数時間かけて5kmはありそうな歩行者天国を端から端まで歩き回りました。屋台フードもたくさん食べ、花火も見て、それぞれどんなに楽しかったかといわいわい話しながらに帰ってきました。皆様のご協力によりこのような活動が続けられることを心から感謝いたします。

## フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピン孤児院への皆様のご支援を心から感謝致します。2014年ももうすぐ終わろうとしています。朝の5時の夜明けに起きて散歩すると、冷たい風が身にしみます。家族がいる子どもたちには、そのことを感謝するように、みんなが学校へ行かれるように、会ったこともない方々が喜んで支援して下さいていること、いつも感謝する心を持つように、支



学校の校長先生とアイラちゃん（右）！

援して下さいる方々の愛によって私たちは一つの家族とされていることを子どもたちに伝えていきます。12月は学生会の地域リーダーシップ訓練プログラムがダイゴス市(Digos City)で行われます。スアワンで就学支援を受けているアイラが代表を務めます。彼女はスアワンインターナショナルハイスクールの生徒会長です。長年、フィリピンの子どもたちへの就学支援を心から感謝致します。

## ザンビア孤児院レポート

## シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ（お元気ですか）？皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げます。先月も、ザンビアの雨不足の事をお伝えしましたが、12月になっても相変わらずの日照りで、いつもでしたら主食メイズ（トウモロコシの一種）は10月に播種が始まり、今頃にはザンビア中の農地がメイズで埋められて美しい緑を見せるのですが、今年は雨を待って播種をまだ見合わせている所も多く、植えたメイズも例年の半分しか生育していません。孤児院の井戸も枯れ、コミュニティの井戸への毎日の水汲みの往復が大変な負担となっています。スタッフも子どもたちも疲弊



しています。先月には赤痢が発生して、スティーブンと、孤児院学校の子も数人を病院に搬送しました。幸い症状は軽かったのですが、今の状況が続くと、井戸の水が濁み、さらに深刻な病原菌の発生も起こりえます。現在、孤児院にある井戸をさらに深く掘削し、年間を通して安定した水量を確保するための資金が、緊急に約\$5000必要とされています。どうか、皆様のご協力を重ねてよろしくお願いいたします。

片道 20 分程のコミュニティの井戸まで歩いています！

## ブラジル孤児院レポート

## 松本弘子

皆様の尊いご支援とサポートをいつもありがとうございます。こちらは夏、真っ盛りのはずで、いつあの凄まじい暑さが来るかと構えていますが、恵みの雨で涼しい日々で感謝しています。私がブラジルに来たばかりの頃に感じたことは、学用品、ノートや本などが信じられないほど高い（日本より高いと感じました）ということでした。その傾向は今も変わっていませんし、物価は確実に上がっていて、その他の新学期に必要なカバンや靴などの値段も倍増しています。さらに調査します。また、このような機会に私たちの児童養護施設への協力もお願いしていきたいと思っています。



ルツ前田さんと松本スタッフ！

# ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

### 【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

### 【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

### 児童養護施設（孤児院）設立支援のため

### 【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

### 【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

## 「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：[ishizue@athena.ocn.ne.jp](mailto:ishizue@athena.ocn.ne.jp)

<http://www.cornerstone.or.jp/>